

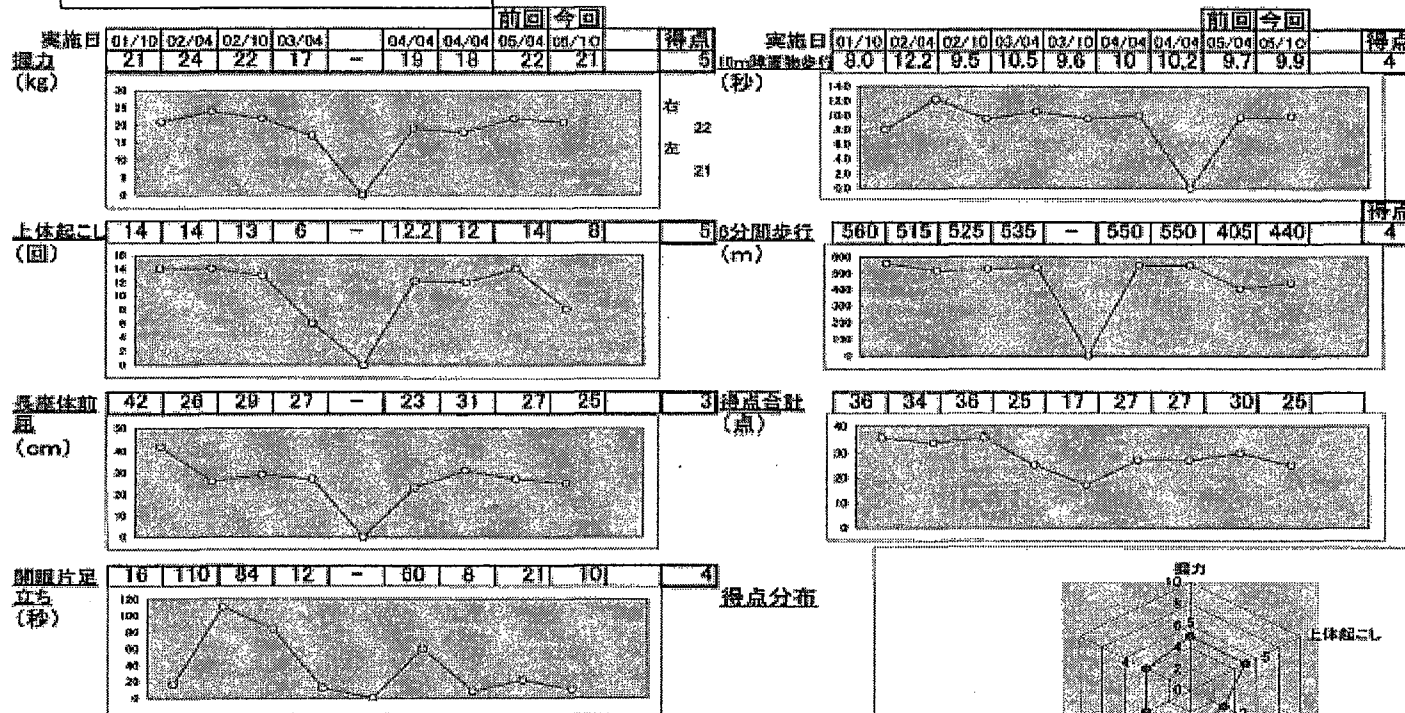
#### 例4. 「介護予防プログラムの実施と効果検証への取組み」

- ・このホームの場合、リハビリや体操、サークル活動、プールでの歩行運動等、要支援者に対するプログラムを設定し実施している。
- ・定期的な測定結果が利用者にフィードバックされ、意識改善へのインセンティブとしての効果が見られる。

### 測定結果

H17. 10. 9実施

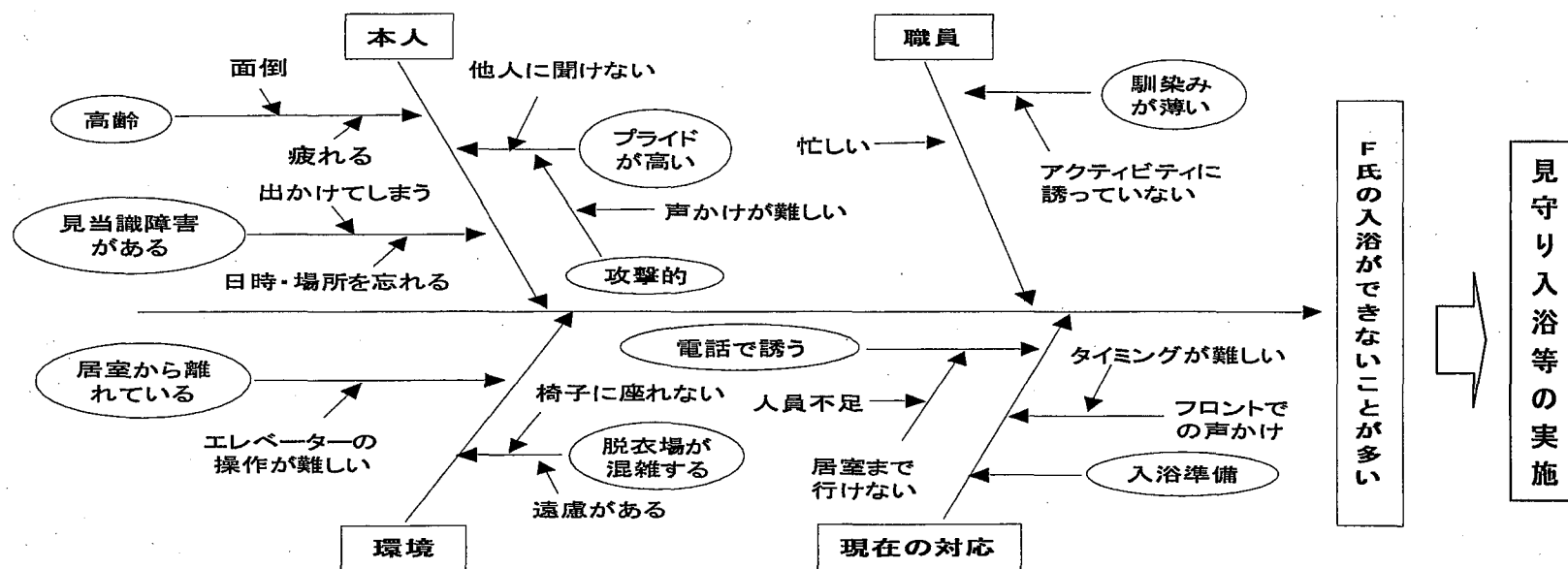
実施日ごとに測定し、推移を見る。



・体力測定にご参加頂き有難うございました。  
 ・前回より6種目の合計が下がってしまいましたが、低い数値ではございませんので、運動を継続することで維持・向上は可能だと思います。  
 ・6分間歩行の結果が前回より向上しており筋持久力の向上が伺えます。  
 ・今後も引き続き、いきいき健康プログラムにご参加頂きご自身の体力維持にお役立て下さい。次回、春の体力測定へのご参加お待ちしております。

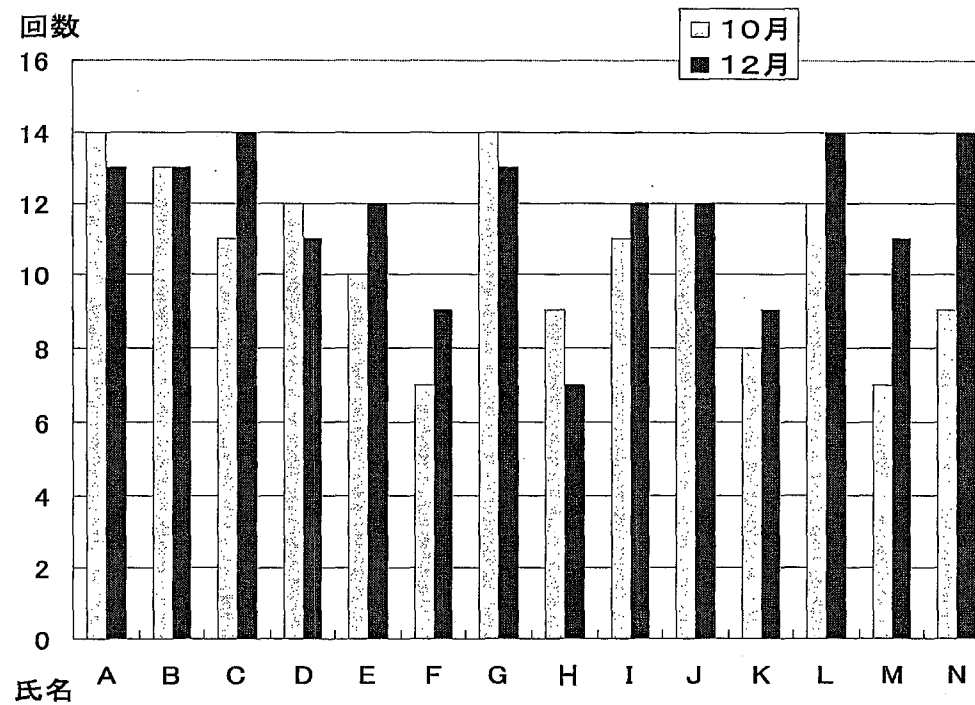
例5. 「一部の居室をデイルームに改修した上で、要支援者に対し各種の予防サービスを提供している事例」

- ・居室への閉じこもり予防も兼ねた、様々な介護予防サービスの実施を行っている。
- ・本例は、要支援者に対し生活全般のアセスメントを実施し、見守り入浴を実施した結果、一定の改善がみられたケースである。



入居者の特性要因図例 (アセスメント)

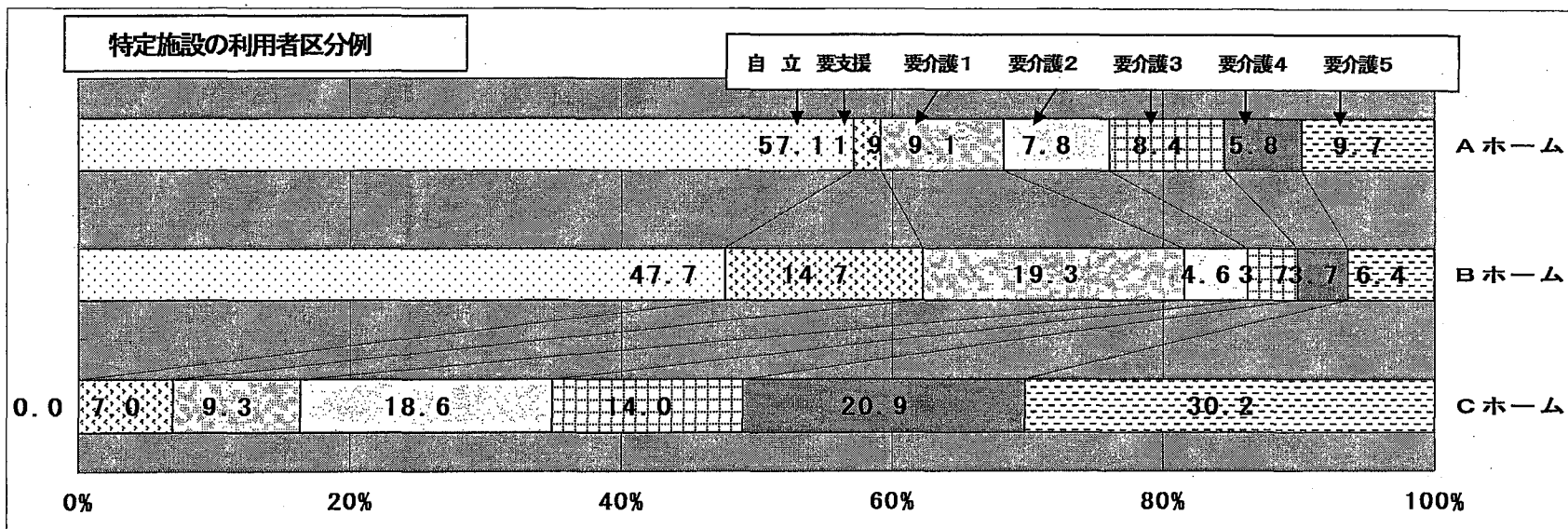
氏名	10月	12月
A	14	13
B	13	13
C	11	14
D	12	11
E	10	12
F	7	9
G	14	13
H	9	7
I	11	12
J	12	12
K	8	9
L	12	14
M	7	11
N	9	14
平均	10.6	11.7



## 見守り入浴実施による 入浴回数の差異

## (2) 介護給付について

- 有料老人ホームは、いわば「終のすみか」としての居室の提供と、終身にわたりサービス提供を行うものである。その事業形態は入居時の状態により大きく異なる。
- 今般の制度改正により、特定施設の「要介護1」の入居者の大半が「要支援2」に変更区分され、仮に要支援2の報酬水準が現行の要介護1より大幅に低く設定された場合、入居者サービスや事業経営にも一定の影響を及ぼしかねない。
- 大幅なサービス低下や事業者の経営不安は、何より「終のすみか」の入居者の生活継続に重大な影響を及ぼすものであり、入居者保護の観点から適正な水準を設定していただきたい。また、介護給付の報酬水準について介護老人福祉施設と特定施設では、医師配置等の差を除けば、介護サービスの内容はほぼ同様であり、この点についてもご勘案いただきたい。



### 3. 介護保険制度改革に伴う(社)全国有料老人ホーム協会の取組みについて

- 今回の介護保険制度改革における特定施設制度の多様化や、老人福祉法改正における有料老人ホームに対する一時金保全措置の義務化等が講じられるなど、業界を取り巻く環境が大きく変化しようとしている。
- 社団法人全国有料老人ホーム協会は、これら制度改正の趣旨を真摯に受け止め、入会審査方法の充実・強化等の取組みを進めているところである。加盟ホームへの啓発・指導や入居者の苦情解決などの取組みを一層強化し、サービスの向上を図りながら入居者の尊厳や生活継続の確保を第一の使命として、業界全体の質の向上を図るべく団体をあげて取り組んでいく所存である。

以 上